



# 下呂市 議会だより

GERO CITY  
assembly

78  
令和5年11月1日



## 【令和5年10月2日 下呂中学校運動会】

「真意 ～決断～」をスローガンに、令和5年度下呂中学校運動会が開催されました。

今年は、4年ぶりに入場制限のない運動会となり、たくさんの観客の皆さんに見守られる中、グラウンドで躍動する全校生徒の姿がありました。

- 9月定例会の報告(審議結果、委員会報告) (P 2～P 5)
- 一般質問(会派代表質問、個人質問) (P 6～P12)
- 常任委員会管内視察報告 (P13)
- 12月定例会日程、編集後記 (P14)

## 9月定例会の報告

9月1日から9月29日までの29日間において、令和5年第5回下呂市議会定例会を開催しました。

初日には、観光庁より事業採択を受けた「歴史的資源を活用した観光まちづくり事業化支援事業」に必要な経費および令和5年8月の豪雨により被災した林業施設の復旧対応のための測量設計費等の増額補正に係る専決処分について承認しました。

また、最終日（9月29日）には、条例制定改正、一般会計・特別会計・公営企業会計に係る補正予算、令和4年度の各会計決算などについて可決・認定しました。

### 上程議案と審議結果

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。  
（右のQRコードを読み取るとホームページが閲覧できます）



#### ○全会一致で可決した議案【①市長提出議案／②議会委員会提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果	
専決処分の承認について（令和5年度下呂市一般会計補正予算（第4号））	—	承認 （全会一致）	
専決処分の承認について（令和5年度下呂市一般会計補正予算（第5号））	—		
財産の譲与について	総務	可決 （全会一致）	
下呂市功労者等表彰条例の一部を改正する条例について			
下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について			
下呂市一般住宅の設置等に関する条例の一部を改正する条例について			
下呂市子ども・子育て会議条例等の一部を改正する条例について			
下呂市児童館条例の一部を改正する条例について			
下呂市火災予防条例の一部を改正する条例について			
令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）			予算
令和5年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）			
令和5年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第1号）			
令和5年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第1号）			
① 令和5年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第1号）			
令和5年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第2号）			
令和5年度下呂市水道事業会計補正予算（第2号）			
令和5年度下呂市下水道事業会計補正予算（第1号）			
令和5年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第1号）			
令和5年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第1号）			
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算の認定について	決算		認定 （全会一致）
令和4年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について			
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について			
令和4年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について			
令和4年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について			
令和4年度下呂市水道事業会計決算の認定について			
令和4年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について			
令和4年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定について			
令和5年度下呂市一般会計補正予算（第7号）	—	可決 （全会一致）	
② 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書	—		

○賛否が分かれた議案【①市長提出議案／②議員提出議案】

○…賛成 x…反対

議案名	議員名											付託委員会	審議結果				
	鷺見昌己	田口琢弥	飯塚英夫	森哲士	田中喜登	尾里集務	中島ゆき子	田中副武	今井政良	伊藤巖悟	一木良一			吾郷孝枝	中島新吾	中島達也	
①	令和5年度下呂市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	x	x	○	予算	可決 (賛成多数)
	令和5年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	x	x	○		
	令和4年度下呂市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	x	x	○	決算	認定 (賛成多数)
	令和4年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	x	x	○		
	令和4年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	x	x	○		
令和4年度下呂市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	○				
②	愛知淑徳学園飛騨林間学舎「淑友館」の取得に対する決議	○	○	○	○	x	○	○	○	○	○	x	x	○	-	可決 (賛成多数)	

9月定例会の議案審議の詳細

議第79号 【賛成多数で可決】

令和5年度下呂市一般会計補正予算(第6号)  
(市長提出議案:予算特別委員会審査付託)

- 公園緑地整備事業 42,423千円
- ★飛騨川公園への6歳から12歳向け児童用複合遊具設置における原材料費や運搬費等の物価高騰に伴う増額補正 9,600千円
- ★飛騨川公園への6歳以下の幼児および乳幼児用遊具の追加設置に伴う増額補正 32,823千円



飛騨川公園

- 公用自動車更新事業 2,696千円
- ★市内事務用車両として使用する軽貨物の電気自動車(EV)1台の購入に係る経費  
(脱炭素の推進、燃料費対策として、今後、庁舎・振興事務所に市内で運行するEVの配置を計画)

議第72号

【全会一致で可決】

下呂市体育施設条例の一部を改正する条例について

- (市長提出議案:総務教育民生常任委員会審査付託)
- 下呂市馬瀬体育館を民間事業者に譲渡するため改正するもの
- 条例に記載の位置、使用時間、基本使用料を削除する

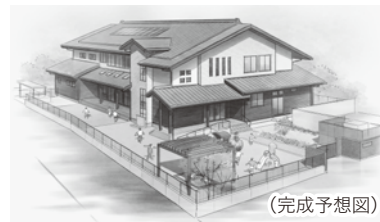


議第76号

【全会一致で可決】

下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設設置条例について

- (市長提出議案:総務教育民生常任委員会審査付託)
- 萩原町内において建設が進められている下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設の設置および管理に関して必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。



(完成予想図)

★QRコードから9月定例会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

議案審議の詳細  
令和5年9月1日  
(定例会初日)



議案審議の詳細  
令和5年9月29日  
(定例会最終日)



## 総務教育民生 常任委員会

9月20日、定例会初日に付託された9議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

**《下呂市体育施設条例の一部を改正する条例について》**（下呂市馬瀬体育館を譲渡することに伴い、関連文言を削除するため、改正するもの）

**Q** 隣接する旧馬瀬中学校校舎の譲与を受けた民間事業者から譲渡の申し入れがあったのか。

**A** 昨年11月に、旧馬瀬中学校校舎の譲与を受けた民間事業者から譲受けの申し入れがあり、その後、地元自治会、関係利用団体等にお諮りをしました。また、議会についても全員協議会にてお諮りをしました。

この度、7月末に地元自治会の了承をいただきましたので、今回9月議会にて条例から削除し、12月議会に向け譲渡について進めていきたいと考えています。

**《下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設設置条例について》**（現在萩原町内で建設中の新子育て支援施設の条例上の名称を「下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設」とし、その設置および管理に

必要な事項を定めるため、制定するもの）

**Q** 施設の機能としては、条例の

名称の通りと考えるが、愛称を公募する考えはあるのか。

**A** 施設の愛称については、すでに公募を行いました。市内の小さなお子さんから益田清風高校生までのご家庭を対象に、公募しました。

49件の応募があり、現在、その中から愛称を選定中です。

**《下呂市児童館条例の一部を改正する条例について》**（下呂市複合型子ども・子育て支援拠点施設内に萩原児童館が設置されることに伴い、きたこども園の隣接地にある萩原北児童館を廃止するため、関連文言を削除するもの）

**Q** 萩原北児童館がなくなるというところで、利用者から存続の要望などはなかったのか。

**A** 萩原北児童館については、萩原児童館が新たにできることにより、条例上は廃止ということになります。その空き施設には萩原北子育て支援センターを設置する予定です。

尾崎小学校区には、今まで子育て支援センターがなかったため、新たに子育て支援センターを設置し、地元の方にご利用いただきたいと考えています。

委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYou Tubeにて視聴できます。



## 予算特別委員会

9月22日、定例会初日に付託された12会計の補正予算案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

**《公用自動車更新事業》**（脱炭素推進、燃料費対策のため、軽貨物電気自動車（EV）1台を購入するもの）

**Q** 購入するEVの配備場所と主な用途は。

**A** フル充電で150キロメートル走行可能な車両の購入を予定しており、萩原振興事務所に配備し、庁舎間の移動や地域訪問活動に使用する考えです。

**《子育て世帯物価高騰対策支援事業》**（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰により家計の負担が大きい0歳から18歳までの子どもを持つ子育て世帯への生活支援として、子ども一人当たり1万円を電子ポイント等で給付するもの）

**Q** 電子ポイント給付を基本とし、スマートフォンをお持ちでない等、電子対応ができない世帯へは商品券での給付がされるとのことだが、電子ポイント給付の割合の見込みは。

**A** デジタルを受入れやすい子育て世代ということで、給付対象2

100世帯のうち9割を電子ポイントでの給付と見込んでいます。

**《観光客誘致対策事業》**（コロナ禍の中で実施ができなかった下呂市観光大使の交流会を開催する費用の増額予算補正）

**Q** 人口減少の中、関係人口を創出していかねばならない状況下で観光大使の協力・支援が必要不可欠と考えるが、市の考えは。

**A** 観光部門に限らず、市からさまざまな情報を発信するとともに意見交換を行うことで、観光大使のネットワーク化を図っていきたいと考えています。

**《公園緑地整備事業》**（当初予算で計上した飛騨川公園への6歳から12歳向け児童用複合遊具設置について、物価高騰に伴う原材料費等の増額、および子育て世帯への支援強化のため、6歳以下の幼児・乳幼児用遊具の設置を追加することによる増額予算補正）

**Q** 遊具の設置によりグラウンドゴルフ場への影響はないか。

**A** 遊具は公園北側に設置となるので、南側のグラウンドとグラウンドゴルフ場に影響はありません。また、グラウンドゴルフをされる方などのために、南側にトイレの設置も検討しています。

付託案件の審査内容を動画共有サービスYou Tubeにて視聴できます。



# 決算特別委員会

9月25日、26日、27日の3日間、委員会を開催し、付託された令和4年度における一般会計、7つの特別会計、および4つの公営企業会計の決算について審査し、全て認定すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

## 【一般会計】

### 〔新規職員の採用〕

**Q** 常勤職員が令和3年度と比較して、8名増加している。募集をかけてもなかなか応募してもらえないので、社会人の採用を拡大したいと聞いていたが、取り組みが実を結んだのか、どう評価しているか。

**A** 職員採用については、再任用や定年延長を考慮し、それだけの職員を確保すれば、事務事業を円滑に行えるかを検討しています。令和4年度に関しては、職員採用が比較的上手くいったが、途中退職する職員もあり、採用できる時にふさわしい職員をしっかりと採っていくことを心掛けています。同年代の職員が増えると退職の時も重なってしまうので、その点も考慮しながら、職員確保に努めます。

**Q** (市有施設への防犯カメラ設置) 市有施設への防犯カメラの設置状況と今後の計画は。

**A** 現在は、市内小中学校へ1基ずつ設置しており、今年度は各こども園にも1基ずつ設置する予定となっております。来年度以降の設

置については、検討中ですが、今後も防犯カメラが必要な施設へは積極的に設置していきます。

## 〔インフルエンザ予防接種の助成〕

**Q** 市のインフルエンザ予防接種に対する助成が、中学3年生までとなっている。今後、高校3年生まで拡大する考えはないか。

**A** 以前、高校生の保護者から要望があり、検討したが、当時インフルエンザワクチンが不足しており、医師会と相談の上見送った経緯があります。高校生への助成拡大については、接種する医療機関と相談した上で検討していく必要があります。

## 〔森林環境譲与税の活用〕

**Q** 森林環境譲与税については、制度が始まった当初は、使い道がわからないという話を聞いたが、今は知恵を絞って有効活用されており、評価する。今後も積極的に活用してもらいたい。市の考えは。

**A** 当初は、国県から使い方について細かい指導があったが、現在は、国も全国の自治体の事例を紹介するなど、柔軟な活用を促す方向に変わっています。ただし、森林環境譲与税は国から市に譲与するため、最終的な説明責任は市にある。聞きながら、節度を持って活用していきたいと考えます。

## 〔消火栓の整備〕

**Q** 市内の消火栓は、地上式と地下式の2種類があり、火災や訓練等で使用する際に戸惑うという話を聞いたが、統一する考えはないか。

**A** 地上式については、主に雪の多い北部地域に設置され、雪が積もっても消火栓の位置がわかるというメリットがありますが、一方では車両が接触して破損しやすいデメリットがあります。雪の少ない南部地域では主に地下式を設置しています。使用方法については、防災訓練等で消防団から説明をしています。

## 〔遠距離通学者のスクールバス利用〕

**Q** 議会への意見・提案箱に、「夏の高温化が進み、健康面の心配がある。遠距離の徒歩通学をスクールバスに切り替えられないか」という意見が複数寄せられた。スクールバス利用の基準は。

**A** スクールバス利用の距離の基準は、中学生4キロメートル以上、小学生3キロメートル以上となっているが、基準に満たない距離でも、状況に応じて、PTAや保護者との話し合いにより、校長が決定し許可している事例はあります。

## 〔下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)〕

### 〔介護人材の不足問題〕

**Q** 介護人材の不足により、介護サービスが十分に受けられない事例もあるが、人材確保に向けた市としての取り組みは。

**A** 今年度からUターン等による市外からの人材確保や、介護士等を目指す学生への給付制度を整えて取り組んでいます。抜本的な対策としての処遇改善については、介護士は国の基準があり、ハード

ルが高いため、令和6年度末までに策定する第三次総合計画の中で検討したいと考えます。

## 〔下水道事業会計〕

### 〔下水道設備の長寿命化〕

**Q** 下水道管路やマンホールについては、設置から30〜40年経過している処理区もあると思うが、長寿命化に向けた更新計画はあるか。

**A** 現在は、処理場の耐震化がより緊急性があるため、そちらに注力しており、管路の更新は今のところ考えていません。老朽化したマンホールについては、随時交換しています。

## 〔下呂温泉合掌村事業会計〕

### 〔集客対策について〕

**Q** 入場者数が回復し、悪化していた経営状況も改善している。引き続き情報発信やイベントを増やして、集客を図ってもらいたい。市の考えは。

**A** SNS(ソーシャルネットワーク)キングサービス)による発信については、インスタグラムをほぼ毎日更新して、その日の村内の状況を発信しています。下呂温泉の宿泊客の約18%の方の来場を目標にしており、宿泊施設との連携を重視しています。イベントや村内の環境整備も大事であり、いただいた意見を参考に取り組みます。

委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYou Tubeにて視聴できます。



議員名下のQRコードから代表質問の映像を動画共有サービス「Youtube」にて視聴できます。



1 番 議員 驚見昌己



### 令和5年度の予算編成に向けた政策提言について

①令和4年10月に政策研究会梶から市長に提出した「令和5年度の予算に関する提言書」は、どのように取り扱われたか。

#### ◆まちづくり推進部長

議事会派等からの提言については、独自の研究・調査に基づくものであり、一定の民意を反映したものと理解している。提言内容に関係する部局に配付し、当該年度または次年度以降の予算編成の参考とさせていただいた。取り扱い方法等については、明確なルールは定めておらず、提言への回答は行っていない。

②政策提言を踏まえ、提言事項6項目の事業化に向けた取り組みの現状と今後の計画は。

#### ◆まちづくり推進部長

①看護師等就学資金貸与事業の貸与条件の拡大

令和6年度予算編成に向けて見直しを検討中

②下呂市若年者地元就職支援金交付事業の見直し

令和6年度予算編成に向けて見直しを検討中

③(仮称)南飛騨やるまいクラウドファンディングの新規事業化

令和5年度にガバメントクラウドファンディングの活用指針(案)を策定し、令和5年8月末までに合掌村の屋根の葺き替え等2件の事業について実施済。

④個人所有地整備支援制度の新規事業化

提案内容の効果やニーズについて調査・検討中。

⑤市民の憩いの場としての公園整備

令和5年3月に「下呂市公園整備計画(子ども期)第1ステージ」を策定し、今年度(遊具整備編)を策定し、今年度に飛騨川公園への大型遊具設置を事業化。

⑥獣害防除柵設置に対する市の上乗せ補助金制度の創設

本年4月に「下呂市バッファゾーン整備事業補助金」として、県補助金の残額について補助対象経費の3分の2、補助限度額100万円を助成する制度を創設。

⑦持続可能なまちづくりへの市民参画について

①市民参画の現状は。

◆地域振興部長

持続可能なまちづくりを進めていく上では、広域的に地域住民相互で支え合う仕組みや地域の多様な意見が反映できる仕組み、地域で暮らす人たちが自らがさまざまな課題に向き合うことが必要だと考える。

市では、市民主体の地域づくりの仕組みとして、小学校区または旧町村地域を単位とした地域運営組織の設置といったものを考えており、今後、自治会や地域の各種

団体等にも説明し、設置に向けた取り組みを進めていきたいと考えている。

②歴史や地域資源を活かしたまちづくりが必要と考えるが、現状と今後の計画は。

◆まちづくり推進部長

今年度、観光庁の「歴史的資源を活用した観光まちづくり事業化支援事業」の採択を受けた。主な事業内容は、景観まちづくり事業として、歴史的資源の探求調査、各種景観調査、住民個別ヒアリング、住民主体の景観まちづくり検討会および協定案の取りまとめである。7月、8月の約10日間専門家と市職員による個別住民ヒアリングを終え、対象者数は約30名。来年1月までに住民検討会を7回から8回計画している。地域主体のまちづくりのモデル事業として取り組みを展開することで、市全体の景観形成、魅力向上につなげていきたい。

③林業の担い手確保について

①市内林業従事者の業務内容と従事者数は。

◆農林部理事

林業従事者の業務は、樹木の伐採や植栽などの作業だけでなく、事業地の確保や集約化、森林経営計画の策定、森林所有者との交渉、境界の明確化、収支予測など、高度な技術だけでなく専門的な幅広い知識も求められる。県が毎年調査している森林技術者数とは、伐採や植栽などの作業に年間30日以上従事した方の人数で、林業従事者の一部にあたり、令和3年は市

内73名、平均年齢は約49歳。20年前の173人と比べ大きく減少し、ここ10年は下げ止まった傾向で、これは県全体でも同じ傾向である。

②「下呂市森林づくり基本計画」では、森林技術者を30名以上増やすという大きな目標が掲げられているが、その確保対策の現状と今後の計画は。

◆農林部理事

県外から市内に移住した林業従事者に対し、県の補助金に上乗せして最大100万円を支給している。今年度は新たな事業として市独自に、県内や市内からの就業者も支援の対象に加えている。

今後は、従来の支援を継続するとともに、新卒者の林業への就業支援にも力を入れていきたい。市内林業事業体の新たな取り組みとして、高校新卒の新規就業者を林業の専修学校に2年間派遣し、給与支給と学費、住居費の一部を事業体が負担するという画期的な取り組みを計画しており、市も取り組みに対する支援を検討したいと考えている。

### 政策研究会 梶

- 登 己 士
- 喜 昌 哲
- 中 見 哲
- 田 鷲 森

# 一般質問 11人が市政を問う

各議員名下のQRコードから一般質問の映像を動画共有サービス「Youtube」にて視聴できます。



9番 今井政良 議員



著しい人口減少、少子高齢化が進む現状を捉えた将来に向けた市の施策について

①子育て支援を含め、少子化問題に対し、どのような施策をもって対応されるのか。

◆福祉部長

令和6年度からの「こども家庭センター」の設置や、各種給付金支給事業などの経済的負担軽減策、子育て関連施設整備、こども園等保育環境の充実、保育士確保策をより一層充実させていく。

◆観光商工部長

②生産人口の減少を見据えた市としての雇用確保の対応策は。

◆福祉部長

第9期介護保険事業計画の策定作業に必要な介護サービスや利用定員について検討している。各種支援金などを事業化し、介護人材確保対策を積極的に展開している。

市独自の新たな物価高騰等対策の考えについて

経営に影響を受けている事業者等の経済活動支援、市民の生活支援の考えは。

◆観光商工部長

「下呂市事業者電気・ガス料金支援金」制度の受付を8月から開始した。今後も経済活動への影響、国県での支援動向を注視し、必要に応じた支援を検討していく。

◆まちづくり推進部長

国の地方創生臨時交付金を活用し、市内商店等で使用できる子ども一人当たり1万円分の電子ポイントでの支援を予定している。

下呂温泉合掌村の経営状況と今後の合掌造り建屋の屋根葺き替え計画について

①合掌村の経営状況は。

◆観光商工部長

令和4年度の入場者は、前年度比1.6倍となり、コロナ禍前の令和元年度の76%まで回復した。昨年度の経常費用では、収益から費用を差し引いた額で約3,500万円の黒字となった。

②屋根葺き替え工事の今後の計画は。

◆観光商工部長

経過年数や屋根の損耗度により順位を決めて、葺き替えをする計画を昨年立て直した。片面または全面を16年掛けて全施設の葺き替えを行う。



7番 中島ゆき子 議員



市営幸の瀬駐車場（旧下呂温泉病院本館棟跡地）の今後の活用計画について

有料臨時駐車場として活用しつつ、正式な活用方法を引き続き検討していくこととなっているが、跡地活用委員会等での協議の状況は。

◆まちづくり推進部長

これまで計4回の協議を行い、本館棟跡地の活用方法の決定については、幸田地区一帯の再整備の在り方に深く関係してくるとして、「リニア中央新幹線の稼働やJR下呂駅整備が具体化されてきた段階で改めて検討してはどうか」、「真に必要なものを見極める必要がある」といったご意見やリハビリ棟跡地の駐車場整備状況を一旦保留にさせていただくこととなった。検討を再開するまでの間、本館棟跡地は引き続き有料臨時駐車場として有効活用を図りたい。

家庭ごみの出し方の変更に伴う課題について

①ごみの減量化を目的として、可

燃ごみの出し方の変更を行ったが、現在のクリーンセンターに持ち込まれるごみの量は。

◆環境部長

令和4年度は1万857トン、うち可燃ごみは、1万114トン。令和5年度と昨年度を比較した月ごとの可燃ごみの量には、顕著な増減はない。

②振興事務所単位で回収しているペットボトルと飲食料用空き缶の片付けおよびクリーンセンターへの運搬は、現在、職員で行っているが、今後、変更する予定は。

◆環境部長

ペットボトルや飲食料用空き缶は持ち込まれる量も多く、休日対応も必要となっており、職員の負担を考慮し、委託について検討していきたいと考える。

③不燃ごみをかごに出す方法について、モデル地区で実証実験を始めて半年が経ったが、関係区民からの意見と洗い出された課題は。

◆環境部長

令和5年8月1日から市民メーデルによるアンケートを実施し、モデル地区の皆さまにもご意見をいただくことができました。かごの管理やステーションの不便さなど、不燃ごみのかごによる排出について「不満である」との回答や、収集作業に想定以上に時間を要するなどの課題が多くあった。



12番 (日本共産党)  
吾郷孝枝議員



## 熱中症から子どもや高齢者を守る 対策を強めて

① 経済的理由でエアコン購入や買い替えができない世帯は、命の危険と隣り合わせの生活を余儀なくされており、エアコンを安心して使えるよう支援すべきではないか。

### ◆福祉部長

生活保護世帯は、生活保護制度や社会福祉協議会の生活福祉資金貸付を活用して購入が可能である。生活保護世帯以外の世帯への購入支援はないが、他市町の情報収集を行い、検討していきたいと考える。

② 児童生徒の学校生活における熱中症対策として、ランチルームや体育館へのクーラー設置を急ぐべきではないか。

### ◆教育委員会事務局長

体育館へのクーラー設置は、今のところ計画していない。市内学校施設のランチルームや特別教室の空調設備については、現在設計業務を進めており、来年度より順次整備を行う。

## 高齢者の带状疱疹ワクチン接種・ 人間ドックの助成を

① 高齢者の带状疱疹罹患が増え、発疹や激しい痛みなどが長期間続き、日常生活にも深刻な影響がある。ワクチン接種助成を求める。

### ◆市民保健部長

現在、带状疱疹ワクチン接種は、予防接種法における定期予防接種とはなっていない状況にあり、国の動向を注視し、带状疱疹の対策について検討していきたい。

② 現在、人間ドック費用助成は74歳までで、75歳以上は全額負担となっている。75歳以上も助成の対象に加えるべきではないか。

### ◆市民保健部長

75歳以上の方の人間ドックの助成については、各検査の有効性等をよく考慮し、検討していきたいと考える。

## 3歳未満児の保育料無料化の推進

市長公約でもある3歳未満児保育料の無料化が進んでいない。まず多子世帯の無料化と、飛騨地域で一番高い保育料の見直しなど、具体的な推進策を示すように。

### ◆福祉部長

家庭で保育を行う世帯との公平性も考慮した検討が必要であるが、18歳未満の児童が3人以上いる世帯については、第3子以降の3歳未満児保育料は、すべて無料にするよう検討を進めている。



3番  
飯塚英夫議員



## 農業農村整備事業の現状について

道路・河川の改良には国県の予算が配当され、その整備効果が目に見えて関心が高い。一方、圃場・水路等の整備や改良を実施する農業農村整備事業には、国県の予算が要望通り配分されているのか。現状を問う。

### ◆農林部長

今年度の県全体の農業農村整備事業関係予算は、当初予算ベースで前年度比100%と総額の伸びが無い中、下呂農林事務所は前年度比約110%と大変手厚い配分をいただいている。下呂農林事務所に割り当てられた予算額は、農振農用地面積当たり事業費、認定農業者1経営体当たり事業費、共に県内10農林事務所の中でトップとなっている。

## 学童保育の利用状況と保護者の負担軽減について

夏休み等に子どもを預ける学童保育のニーズが高まってきている。現状と課題について問う。保護者の負担軽減のため、昼食の提供を試験的に行う考えはあるか。

か問う。

### ◆福祉部長

夏休み期間中の利用率は、平成29年度が全小学生の13・8%に対し、今年度は25・4%まで上昇した。特に1年生35・8%、2年生38・8%と低学年が高い利用率となっており、利用申し込みが非常に多く、運営スペースとスタッフの確保が課題となっている。昼食の提供については、アレルギー対応や費用負担、衛生面の確保などが課題とされ、それらの対応も含めた検討を考えている。

## 自転車用ヘルメットの購入補助について

道路交通法の改正により着用が努力義務化され、着用率は小学生は高く、高校生や高齢者は低い傾向がある。最近では意匠性に優れたものがあるが、高価であるため着用者が増えていない。県内では関市などで購入費補助が実施されているが、市の考えを問う。

### ◆総務部長

昨年度に県が条例化した後、市町村に財政支援を行う検討がされ、さらに補助金の継続性や補助率、要綱の統一化なども同時に議論されたが、その後は進んでいない。県の方針が示され、詳細が分かった時点で市としての対応を検討したいと考える。





13 番 (日本共産党)  
中島 新吾 議員



**きびしさが続く市民のくらしと経営への支援について**

①物価高騰でゆとりがなくなっている市民のくらしに温かい支援を。  
②物価高騰は中小規模事業者や農家に直接の打撃となっている。これからの支援の具体化を。

◆まちづくり推進部長

地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策の追加支援策となる2事業の補正予算案を提出し、特に影響の大きい業種、世帯に対する支援策として取りまとめた。

**デジタル社会の推進は市民の理解と信頼を得ることが必要です**

①マイナンバーカードをめぐるトラブルで国のデジタル化(DX)推進に対応する市のDX実施計画の見直しはないのか。

◆まちづくり推進部長

市のDX推進計画を現在策定中であり、デジタル庁が発表したマイナンバーカードをめぐるトラブルについて、十分に把握をしながら策定を進めていく。

②市民に対しマイナンバーカード取得、マイナ保険証の実質的な押

しつけにならないこと。健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一体化について、中止を含め見直すよう国に要望すること。

◆総務部長

保有率が7割超となる社会基盤を上手に使うていくことは非常に重要と認識している。国民がメリットを感じ、納得感が得られる説明を国に求めていきたいと考える。

③デジタル社会について市民の理解と信頼を得るための取り組みは。

◆まちづくり推進部長

デジタル社会の到来を身近な問題として伝えること、具体的に市民の皆さまにデジタル化の効果イメージを示すことが重要と考える。

**地域を持続させるためには農業・農地を守る**

農業に携わる人が減り、農地の荒廃も広がっている。この現実を市民と共に考えることが求められている。執行部の基本的な姿勢と今後への対策・対応は。

◆農林部長

農業従事者が減っている中でも、現在の優良農地を守っていきける形を整えることが当面最優先と考えている。「人・農地プラン」について、10年後を目指す地域の農地利用を示す目標地図を備えた「地域計画」に変更する取り組みを始めた。



5 番  
田中 喜登 議員



**これからの下呂市における農業の在り方について**

①集落営農推進に対する支援の現状と課題は。

◆農林部長

担い手農家自体の高齢化や人手不足など、将来を見据えた対策が課題となっている。集落営農の組織化や農地維持管理の持続性強化のため、農地周辺の管理を国の交付金などを活用しながら地域で取り組むなど、担い手農家の負担軽減も重要であると考えている。

②中山間地域における農地の維持保全への取り組み状況と課題は。

◆農林部長

市はこれまで農地集積と集落営農の推進、新規就農者の確保・育成、直接支払交付金の活用など総合的な対策を進めてきたが、著しい耕作不利益については、当面は中山間地域直接支払交付金などを活用しながらできる限りにおいて営農を継続していただきたいと考える。

③耕畜連携に向けた取り組み状況と課題は。

◆農林部長

飛騨地域農業再生協議会の中で、堆肥の利活用拡大やWCS用稲の安定生産・安定供給に向けた取り組みを行っている。畜産堆肥は地元畜産農家との需給促進・マッチングに取り組み、飼料作物についても自家利用・契約作付け等を推奨し、引き続き産地交付金による支援を実施する。

**道路・河川・排水路の維持修繕における業務の発注方法について**

①令和5年度から一括発注方式へと見直しがされたが、これまでの実施状況とその評価は。

◆建設部長

緊急時に早急に依頼できること、事務作業の軽減、業者依頼の不透明さが解消されるなど多くのメリットがあると考えている。各地区からの要望事項に対し、8月末時点で小坂27件・萩原70件・下呂47件・金山13件・馬瀬22件の修繕を依頼している。

**②観光地としての道路維持作業の在り方について。**

◆建設部長

施設がしっかりと管理され、安心安全に滞在できることが重要である。景観的にも良い状態が継続できるように高山国道事務所・下呂土木事務所に要望を行い、連携を図りながら対策する必要があると考える。



6番  
尾里集務議員



## 未来を担う子どもたちの教育環境の整備を確実に

①教育環境向上のための校舎改修、および新学習指導要領に対応した新たな学習教材等の整備の状況と今後の予定は。

### ◆教育委員会事務局長

耐力度調査の結果を踏まえ、学校施設の長寿命化計画に基づき、順次整備を行っている。タブレット端末導入など、ICTを活用し、個々に最適化された学習ができる体制をより強化したいと考える。

②今後の教育予算の確保・拡充に向けた考えは。

### ◆教育委員会事務局長

部活動の地域移行などにより、大幅な予算増加等が見込まれる中、限られた一般財源の効率的・効率的な活用に取り組んでいくとともに、積極的に国、県へ予算の要望を行っていく。

③学校のスリム化に向けた取り組み実績とその成果は。

### ◆教育長

確実に教職員の時間外勤務時間が減ってきており、今年度は、教材費の公会計化や校務支援システム

の導入により、教職員の業務効率化を図っている。

児童生徒のボランティア活動などが増え、地域活動への参加が増えたのも成果と考える。

④中学生の合同部活動への参加状況と今後の運営方針は。また、拠点校への交通手段の考え方は。

### ◆教育長

休日においては、各学校の51の部活動が29になった。陸上、剣道、男子バレーは市内で一つ。軟式野球、女子バスケ、吹奏楽は市内で二つ。その他でも合同で行っている。複数の指導者の配置、学校と連絡を密にした運営方法の構築を現在行っている。

### ◆環境部長

交通手段では、スクールバス、JR、定期バスのホリデイバスポートを活用した運営を行っている。さらに子どもたちが移動しやすい方法を模索していきたい。

### 市としての太陽光発電に対する考え方について

市全域を対象とする安全面、防災面、環境への配慮等、地域と共生した太陽光発電の整備方針等の策定が必要と考えるが、その考えは。

### ◆環境部長

今年度、補助金を活用し、地域脱炭素社会実現に向けた再生可能エネルギーの最大限導入のための計画づくりに着手した。景観への配慮、安全性、防災など、市の特性、実情に即した整備方針を策定していきたいと考えている。



2番  
田口琢弥議員



## 下呂市が現在検討を進めている課題への取り組み状況について

①不燃ごみの新たな排出方法確立に向けた進捗状況について。

### ◆環境部長

不燃ごみの排出方法について、市民メールによるアンケートを実施し、意見や課題を多くいただいた。変更時期について、令和5年11月を目指して検討してきたが、お時間をいただき、搬出方法と時期を延期し、改めて決定させていただきます。

②公園等公共施設における暑さ対策について。

### ◆まちづくり推進部長

今後の気温上昇が懸念される中で、今まで以上に公共施設を利用される方の健康・快適性の確保に向けた施設管理・整備を意識的に取り組む必要があると考える。

③指定避難所と指定緊急避難場所における携帯電話等による通信手段について。

### ◆総務部長

市の指定避難所および指定緊急避難場所について、携帯電話の不

感地帯はないと認識している。携帯電話が使用できない場合は防災行政無線や消防団無線を使用した情報伝達となると想定している。

## 火葬場の運営状況について

築35年経過した浄郷苑の建物・設備等の現状と問題点について。

### ◆環境部長

昭和56年6月以降の着工であり、新耐震基準の建物で耐震性に問題はないと考える。火葬炉などの機械設備は老朽化が進み、大規模な改修が不可欠となっており、段差解消などバリアフリー化も必要である。

## 下呂温泉街の魅力向上について

事業採択を受けた観光庁所管「歴史的資源を活用した観光まちづくり事業化支援事業」の計画内容と重要ポイントについて。

### ◆まちづくり推進部長

景観まちづくり事業として、歴史的資源探求調査、各種景観調査、住民個別ヒアリング、住民主体の検討会および協定案の取りまとめを予定している。

観光・地域経営体制構築事業として関係団体で構成する下呂地域再生委員会を立ち上げ、温泉街の歴史的資源の保全・活用や、展開イメージ像の検討を行う予定である。

住民主体の景観まちづくりであることが一番のポイントとなる。



10 番  
伊藤 厳 悟 議員



### これからの教育と地域について

①妊娠・乳幼児から高校生までの一貫した教育ビジョンの策定が必要ではないか。市の考えは。

#### ◆教育長

一貫した教育ビジョンの作成は、一人一人の子どもの適切な教育、一人一人の子どもの確実な成長に大きな影響を与えるものだと思っている。

系統性を考えた連携をする上にも、こども園、小学校と中学校で策定しているそれぞれの教育における方針と重点をすり合わせ、一貫した教育の方向性を示していくと考えており、次年度に向け構想していく。

②子どもに関わる業務を集約した組織の見直しの考えは。

#### ◆総務部長

子どもに関わる部局は、4部8課で子育て・教育に関して支援を行っている。

令和6年度からは、母子保健分野と児童福祉分野を一体化させた「こども家庭センター」を星雲会館内に設置し、妊産婦から子育て

期の家庭の相談支援を途切れることなく実施していく。なお、将来的には、国のこども家庭庁にならぬ、子育て支援の担当をこども家庭課に集約し、さらなる支援に取り組んでいきたい。

③市内のコミュニティ・スクールでは、地域や保護者と共に多様な活動が実践されている。自然体験学習活動がより実施できるよう市として支援が必要ではないか。

#### ◆地域振興部長

市ではコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進しており、活動に必要な消耗品等の購入支援、社会教育主事の会議参加や各地域で実施している取り組みの情報共有などの面で支援をしている。今後取り組み地域づくりの仕組みの中でも、こういった活動をさらに進めていきたいと考える。

#### ◆教育委員会事務局長

小学校では、田植え体験、滝めぐり、森林環境自然散策やトマト農家での体験などを。中学校では、滝めぐりや森林学習の他、修学旅行の行程の中で、自然体験活動を採用している学校も見られ、今後各小中学校で実施される「個性ある学校教育推進事業」を積極的に活用していただくなど、自然体験活動を引き続き推進していきたいと考える。



14 番  
中島 達 也 議員



### 水道料金改定に向けて

「水道だより」の連載や説明会の開催を予定されているが、今後、多くの市民に理解され、料金改定がスムーズに行われることを願う、以下の点について伺う。

①市内水道設備の現状と課題は。

#### ◆上下水道部長

本管の漏水がたびたび発生しているが、市内約570キロメートルに埋設された水道管全てを耐震化等するには費用も時間もかかるため現実的には厳しい。大きな地震が起きても給水を確認するための大きな避難所等を数箇所選定し、そこまでの管路の耐震化費用などを料金改定の試算に反映している。

②財政的な問題点と改定理由は。

#### ◆上下水道部長

人口減少による水道料金収入が減っていく中、施設内の機器の更新や管路の耐震化を進める必要がある。収入が減る中で、さらなる投資をしていかなければならないのが一番の課題であり、その課題を少しでも解消するのが料金改定の

の主な理由である。

国道41号、東上田保木口地内の安全確保について

①6月、歩行者とトラックによる重大事故が発生した。現場周辺は量販店、飲食店などが立ち並び一方で横断歩道が遠く、道路を横切る人が多いのが現実であり、横断歩道の新設が必要と考えるが市の対応方針を伺う。

#### ◆総務部長

横断歩道設置の要望があることは承知しているが、逆に車道の危険性が増すことも考えられ、慎重に検討する必要がある。関係機関と十分な協議を踏まえながら検討し、要望していきたいと考える。

②中部電力東上田発電所前、市道東上田1号線が進入する交差点は非常に危険な場所として地元から何度も改良の要望書が出されているが、この対応について伺う。

#### ◆建設部長

平成26年度には信号機設置について関係団体と協議を行ったが、設置基準に満たないため対策されていない。

国道41号に関わる事業については、市内多くの箇所で見られるように、管理する高山国道事務所と協議を重ね、市内の危険な箇所から対応いただけるようお願いをしていく。



11番 議員  
一木良一



## 福祉移動サービス(ボランティアバス)について

社会福祉協議会(社協)の車両貸出事業を活用したボランティアバスによる地域における移動手段の充実と、さらなる地域活動への支援策を。

### ◆福祉部長

ボランティア団体から大型車両導入や安全装置設置に係る支援の要望をいただいたが、市には車両更新や修繕に対する直接的な補助制度はない。民間の福祉団体や慈善団体の有利な助成制度の紹介等により、社協の活動を応援していきたい。

## ふるさと納税の推進について

①取り組み開始から現在までの年間当たりの寄付額、負担経費、収益等の推移について。

### ◆観光商工部長

開始した平成20年度は655万円。平成30年度には1億円を突破し、令和2年度は約3億9千万円、令和4年度は約7億1千万円と順調に納税額が伸びている状況である。昨年の経費率は44・5%。収益額は令和4年度で約3億9千万

円となっている。

②今後の推進に向けた専門的知識を有する事業者等の活用について。

### ◆市長

納税額の増加は業務を受託するNPOの努力の賜物であり、十分にノウハウや知見、経験を持っていると考える。専門的な知識を持った事業者とも交渉しながら業務を行っていたい。

## 市としての戦没者追悼式について

①戦没者遺族の高齢化と遺族会員の自然減により、地域での慰霊祭存続の危機が目前となった現状をどう捉えているのか。

### ◆福祉部長

主催する遺族会の高齢化や世代交代に伴う会員数の減少により、将来的な開催に対する心配は遺族会からも伺っている。市としても過去の戦争が忘れ去られるような事態は、平和を望む立場からも避けたいと考える。

## ②市主催戦没者追悼式実施に向けた進捗状況について問う。

### ◆福祉部長

要望を受け、協議をしている中で、今年5月と8月、2回の会議を開催し、「市主催で実施するとしても、戦後80周年である令和7年度を目途に、他市の事例も参考にしながら今後も十分な協議を重ねていってはどうか」との意見を伺っている。

## 議員研修会

### E・DMO=先駆的DMOとしての取り組み

9月19日、(一社)下呂温泉観光協会の瀧康洋会長を講師にお招きし、下呂温泉観光協会が取り組まれている「E・DMO」について学ぶため、研修会を実施しました。

下呂温泉観光協会では、長年にわたり、戦略的な観光振興に取り組み、近年ではエコツーリズムとDMOを融合させた「E・DMO」として、市内各地域の観光資源を生かした取り組みをされています。

2022年に下呂温泉は、「世界の持続可能な観光地トップ100選」に選ばれ、今年3月には下呂温泉観光協会は、観光庁により、「先駆的DMO」3法人の一つに選出されました。

観光立市である下呂市の議会としても、この取り組みについて理解を深めるべく、全議員が研修を受講しました。

※DMO(デスティネーション・マネジメント・オーガニゼーション)：地域と協同して観光地域づくりを行う法人

協会長の講話をお聞きし、国内はもとより、国際情勢にも目を向けながらのマーケティングとその成果について、統計データに基づいた分析をし、次のマーケティング

グにつなげていくサイクルが確立されているということに感銘を受けました。

また、役割分担を明確にした無駄のない組織には、観光のみならず、関連する業界も参加しており、より豊かな地域住民の暮らしを目指すDMOの本質に沿った展開がなされていると感じました。

今後、さらに「E・DMO」を展開させていくための二次交通の整備や、各地域の観光協会を中心とした組織の再編など、市が抱える課題についても捉えることができ、有意義な研修会となりました。



下呂温泉街と小坂三ツ滝

## 委員会管内視察

### 総務教育民生常任委員会

8月9日、総務教育民生常任委員会において、消防本部および金山病院の運営状況等を確認するため、視察研修を行いました。

#### 《下呂市消防本部》

2023年3月に更新した「高性能消防指令システム」の運用状況を視察し、新システムの概要説明を受けました。

通報受付段階での地区の特定が早く確実になったこと、車両位置確認により、最適な出動指示が可能となったこと、水利確認等に対応したシステムとなったとの説明を受けました。

委員からは、「固定電話・携帯電話・IP電話を問わず、全ての119番通報において地図モニターに瞬時に位置を表示することができ、通報者も位置が分からない場合でも、場所を特定できることは、一刻

を争う非常事態への迅速な出動につながり、市民の安全も高まる。」「緊急デジタル無線との連携や火災・



救急・災害に対しスピーディーな対応ができ、効果的である。」「NET119（聴覚や音声、言語機能に障がいのある方を対象）の導入など、障がい者からの緊急通報の仕組みが良く理解できた。」との感想がありました。

#### 《下呂市立金山病院》

外来、入院、主病別や地区別の患者数の推移、人口減少や医師確保が困難となる状況下での経営改善の取り組みについて説明を受けました。

委員からは、「患者数の減少により経営の悪化が止まらないが、地域医療には欠かせない施設なので、診療科目や救急の受け入れ体制について抜本的な見直しが必要であると感じた。」「課題としてやはり医師・看護師確保が重要視される。」「住民の願いやニーズをしっかり捉えることが大事。」「施設は大変素晴らしいのもっと利用される病院にしていくことが大切。」といった意見がありました。



## 委員会管内視察

### 産業経済常任委員会

10月5日、産業経済常任委員会において、DMOによる地域での取り組み状況を確認するため、視察研修を行いました。また、昨年度に引き続き、（一社）下呂建設業協会役員との意見交換会を行いました。

#### 《金山地域》

（筋骨めぐりと巨石群・四つの滝）金山地域において、ガイドツアーで人気の「筋骨めぐり」と「巨石群」、「四つの滝」について、金山町観光協会のガイドの方にご案内いただき、説明を受けました。

筋骨めぐりでは、実際に現地を巡り、ガイドしていただくことで初めて知ることが多く、大変興味深いものとなりました。また、現在は、筋骨めぐりに訪れる方がコロナ禍前より増えていることなど、関係者の皆さまの熱心な取り組みをお伺いすることができました。



筋骨めぐり



ガイドの方の説明

#### 《小坂地域》

（がんだて公園と滝めぐり）小坂地域において運営されている「小坂の滝めぐり」について、NPO法人飛騨小坂200滝のガイドの方にご案内をいただき、説明を受けました。

滝めぐりの中、三ツ滝の迫力に感銘を受け、流れる川のきれいなや、アマゴが産卵する珍しい場面を見ることができました。



がんだて公園



滝めぐり

#### 《（一社）下呂建設業協会役員との意見交換会》

（一社）下呂建設業協会理事長をはじめ7名の役員の皆さまに出席いただき、建設業協会の現状について説明を受け、意見交換を行いました。



## 国道41号門原 防災事業着工式

9月10日、旧中原小学校体育館において、国道41号における「屏風岩（びょうぶいわ）改良」に引き続き、「門原防災」の本線工事本格着手に伴い、着工式が執り行われました。

門原防災事業は、下呂市門原（三原間）延長2・3キロメートル（トル）の局部改良事業で、防災面で対策が必要な箇所を回避することで安全・安心な幹線道路の機能強化を図るとともに、雨量通行規制区間の緩和・解消が期待され、下呂温泉へのアクセス強化にもつながります。

式典では、県選出国会議員、下呂市長、下呂市議会議長などによる工事の安全と早期完成を祈願した鍬入れ式が行なわれました。



式典での鍬入れ式

## 県庁へ下呂市 単独事業要望

7月26日、下呂市長と下呂市議会議長は、今井政嘉県議会議員に同行いただき、岐阜県庁を訪問し、林政部・農政部・県土整備部の各部署に対する下呂市単独での事業要望を行いました。

これまで、期成同盟会や飛騨地域では要望を行なってきましたが、今回、課題となっている市内のさまざまな現状について説明を行い、諸事業に係る予算の確保と事業の促進を強く要望しました。



要望の様子（農政部）



県土整備部長へ要望書提出

## 12月定例会会期日程(予定)

12月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。  
なお一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
11月29日	水	本会議(初日)	午前9時30分～
12月12日	火	本会議(一般質問)	
13日	水	本会議(一般質問)	
14日	木	常任委員会	
15日	金	常任委員会	
18日	月	予算特別委員会	
20日	水	本会議(最終日)	

※日程は変更になる場合があります。 場所：本会議(下呂庁舎3階議場) 委員会(下呂庁舎3階第1会議室)

## 編 集 後 記

足を怪我した友人の車いすでの療養生活中的の出来事。生活スタイルが変わった途端にたくさんのことに気が付かれたそうです。病院の通路や会計の列に並んだ時、邪魔者のように見られる視線や心無い言葉を浴びせられたこともあったようです。一方、私事ではありますが、待ち合いで順番を譲ったら「生まれて初めてこのような事をしていただいた」と言われたことがありました。

慌ただしい日々をお過ごしのこととは思いますが、弱い立場の人、子どもたちやお年寄りに対しては、一瞬立ち止まり「優しい心 思いやりの心 譲り合う心」を持って接し、ゆとりある生活を送りませんか。(T.T)

## 下呂市議会だよりがスマホで 読めます!!

インターネット上で  
無料閲覧できる、  
ギフイーブックスで  
配信中です。



## インターネットライブ配信

本会議および常任委員会・予算・決算特別委員会(付託案件審査)は、動画共有サービス(Youtube)にてライブ配信を行います。

<https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtp-rJGKQ>

過去のライブ配信動画は、下呂市ホームページから視聴できます。

